事業活動におけるマテリアルフロー

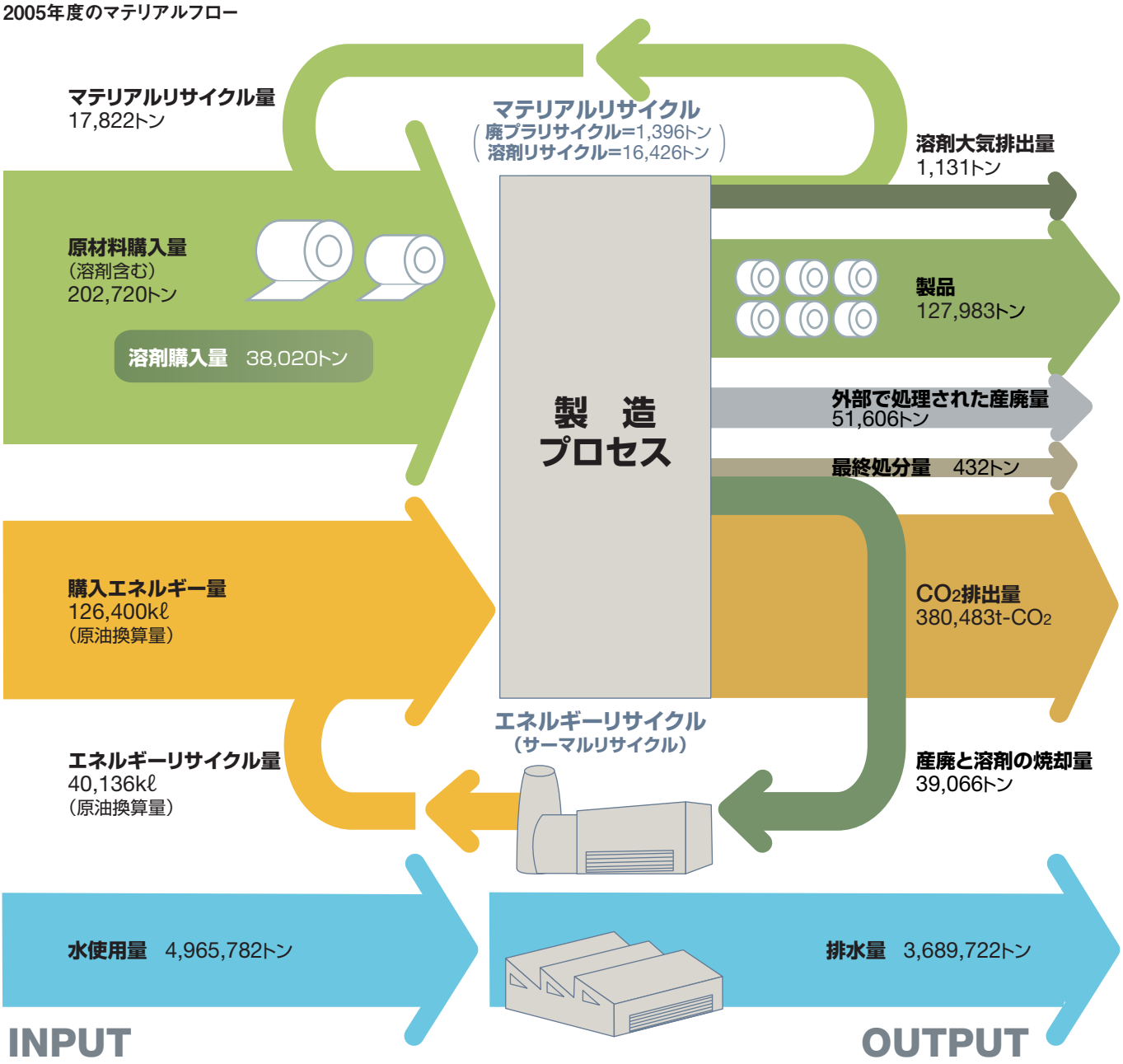
日東電工グループでは、産業廃棄物のマテリアルリサイクルやサーマルリサイクルを推進しています。
有機溶剤についても、回収装置による回収再利用（マテリアルリサイクル）や、
脱臭炉で焼却処理したときに発生する熱エネルギーの利用（サーマルリサイクル）を行っています。

2005年度のマテリアルフロー （日東電工単体）

再資源化センターの本格稼働によってマテリアルリサイクル量が増加しました

2005年度の原材料（合成樹脂や紙、ゴムなど）の購入量は202,720トン、エネルギー購入量は126,400kℓ（原油換算量）でした。

2005年度のマテリアルリサイクル量は、豊橋事業所の有機溶剤回収装置による回収、廃プラスチックの再資源化によって17,822トンと増加しました。廃プラスチックリサイクルについては、豊橋の再資源化センターの稼動等により、2004年度と比較して約30%の増加となりました。

サーマルリサイクルでは、脱臭炉での有機溶剤の燃焼処理と、廃棄物の焼却処理の際に発生する熱を回収することで、エネルギー使用量の約24%にあたる40,136kℓ（原油換算量）を作り出しています。

2005年度のマテリアルフロー